

2022年2月4日 (金)

■会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会＝玉本 広人 SAA

◆会長告知・北川和彦会長＝本日は立春です。岡谷市湊の小坂観音でふきのとうが芽を出したという新聞記事が出ていましたが、いよいよ春めいてきます。冬期北京五輪が今日開会式とのことで、大会運営に政治的な色彩が強くて違和感を感じますが、選手にはコロナ感染に注意して実力を発揮してほしいと思います。

コロナと言えば、オンラインでの人との交流に難しさを感じます。私は長野県の労働委員会公益委員ですが(小口武男会員は1昨年まで12年間使用者委員をされていました)、労働委員には中央労働時報という冊子が毎月配布されます。その1月号に面白い随想が載っていました。執筆者は中央労働委員会使用者委員です。人事部に長くおられたとかで、人事は現場を見て判断するものと教えられてきたが、コロナ禍でオンラインを余儀なくされ現場百遍ができない。どうすべきかという話です。

その場合の心構えとしては、想像力、質問力、雑談力の三つの力が必要とのことです。この委員は女性ですが、自身は、他の社員に、女性を部下に持ったらこの三つの力を磨いて接するように言ってきたとのことで、オンラインへの応用に気づいたとのことです。

第1は想像力です。当事者は職場でどんなやりとりをしていたか?表情、声のトーン、場所、何がきっかけですれ違いが生じたのか?を想像する。その作業が現場感を醸成する助けとなるとのことです。

第2は質問力です。想像が思い込みや妄想にならないように修正するために必要で、モノクロがカラーに色づけされる効果があるとのことです。

どうやって質問の質を上げるかですが、自分の想像を補完するためということでは誘導尋問となって事実が曲がる。誘導尋問とは、「あなたはそのとき包丁を持っていたんですね?」

「殺すつもりだったのですね?」という風に、イエスカノウで答えられる質問のことです。「そのときあなたは何か持っていましたか?」「手に持った包丁でどうしようと思ったのですか?」という風に聞いていく。誘導尋問では具体的事情は浮かび上がらないです。

相手方が構えてしまう質問は良い質問でない。質問された相手がどのような気持ちになるかをまず想像してから質問をしていくことが必要とのことです。

第3は雑談力です。信頼関係のない人と話す場合は、最初から質の高い答えは期待できないので、雑談を入れることが大事ですが、オンラインでは雑談は難しい。そこで第三の話題を見つけて共通の話題として提供し、その話題に巻き込む。雑談で安心感を作り、信頼関係を構築していく。この力が質問力の効果を高め、想像力を深化させ、現場に軸足を置いた密度の濃

いオンラインタイムを作り出せる要諦だとのことです。そのためには、常日頃から小さな出来事に興味、関心を持つこと、一緒にいるメンバーの気持ちを思いやる優しさが必要とのことでした。

本日は高野会計理事による、前期の会計報告です。よろしくお願ひします。

◆幹事報告・飯田兼光幹事＝①本日の例会は上半期会計報告です。高野会員、後ほど宜しくお願ひ致します。②先日スタッフジャンパーのサイズ確認の案内を送らせて頂きました。本日提出期限となっていますので、期限厳守でご協力お願ひ致します。③デジタル化推進委員会の八幡委員長の方で、諏訪ロータリークラブとしてZoomのアカウント取得をして頂きました。今後利用できるよう運用を検討頂いています。クラブ内で利用できるようになりましたら、改めてご案内頂きます。④今月のロータリーレートは115円です。お願ひします。⑤次週2月11日は法定休日のため例会はございません。⑥本日より理事会は行いません。以上です。

◆委員会報告

●65周年実行委員会記念誌部会・宮坂康弘部会長＝65周年記念誌の編集作業を進めておりますが、お願ひしております家族写真の提出締切が2月10日に迫って参りました。現在17名の方に提出いただいておりますが残り33名の方、宜しくお願ひします。100頁を超える編集作業が待っておりますので、ご協力宜しくお願ひします。

●米山奨学会 小口武男委員長＝先日古屋委員長よりお話しがありましたが、6月の65周年に向けて、米山奨学会・ロータリー財団として、しっかり寄付を集めていこうということになっております。是非皆さんのところに直接お願ひをさせて頂こうと思っておりますのでその節はよろしくお願ひします。

◆上半期会計報告＝高野健光会員＝別途会計報告にてご確認下さい。

◆今後の例会日程

2月11日	金	法定休日
2月18日	金	クラブフォーラム 平和と紛争予防/紛争解決月間
2月25日	金	クラブ協議会 ガバナー補佐訪問